

教育実習事後レポート

番号
番氏

東海 歩

【課題】

教育実習ルーブリックの自己評価を終え、今後の自己課題を明確にしよう。自分の教育課題を分析考察し、自らの教育課題を明確にし具体的な方策を記述してください。

まず、私の教育課題は、適切な言葉で明確な指示を出すことができず、児童たちがとまどい、すぐに活動に入れなかったり、活動に入ってもわからなそうにしている児童たちが多々いたことだ。授業は年間を通して決められたもので、四十五分間という限られた時間内で指導計画を達成することの難しさ、大切さがわかったが、的確で児童に対してわかりやすい指示でないと時間がもったいないということがわかった。日々の学校生活でも様々な人と会う中で、自分自身の中で言葉を選び、話し方について意識していこうと考えた。

次に、児童一人一人の発言を大切に扱ったり、その発言を全体で共有することが課題となった。意図していなかった発言がくると焦せることが多々あった。そのような発言でも、全体で共有し、なぜ違うのかや他に何か方法がないのか等について話し合い考えることの重要性について気付かされた。授業を観察実践する中で話し合いの授業形式は、小学校の特色であり、大切なことであるなと思った。一人一人の意見を大切にすること、その意見を全体で把握し、それについて意見を出し合い考えを深めることが重要だと気付かされた。これから日々の学校生活を通して、授業の中で学んでいこうと思う。

中学校実習では、今回の実習で課題となったことに気を付けながら、意識しながら行っていきたい。今回の実習では、自分自身の新たな教育課題や、その他の社会人としての課題が明確となり、多くことを学び、考えさせられる実習だった。今後にいかにしていきたい。